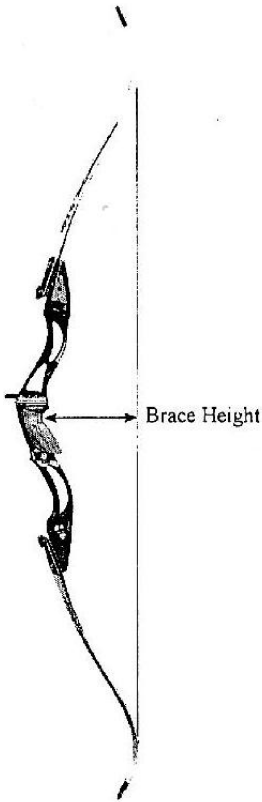


## ブレースハイト(Brace Height)



ブレースハイトとはストリングからグリップのピボットポイントまでの垂直な距離のことです。ブレースハイトのチューニングは弓のチューニングの中でも最も大事なものです。ハイトを高くすることで矢速は遅くなり、低くすると矢速は速くなります。

最適なハイトの高さは、矢速だけではなく、リムの滑らかな動き・矢飛びの良さ・矢のグルーピング・発射音の大きさのバランスによって決定する必要があります。一般的にブレースハイトが多少変化しても大きな影響はありませんが、しかし、時には矢飛びが悪くなったり、発射音が大きくなったりすることもあるので、常に一定に保つことが理想的です。

ブレースハイトは弦を時計回り・反時計回りに回転させることで調整します。弦をよりねじることで、ハイトは高くなり、れじりをほどくことハイトは低くなります。10回転～80回転の範囲内で希望のハイトにならない場合は、違う長さのストリングを使うことをお勧めします。

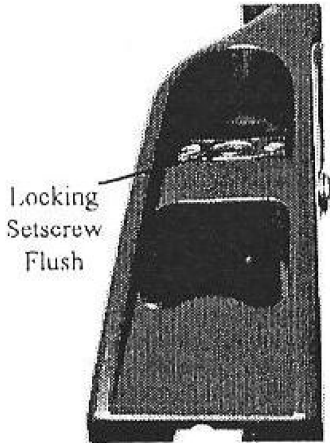
弓の長さ	推奨ブレースハイト	弦の長さ
64インチ	20.3cm-21.6cm	155cm
66インチ	21.0cm～22.2cm	160cm
68インチ	21.6cm～22.8cm	165cm
70インチ	22.2cm～23.5cm	170cm

※記載している弦の長さは PSE X-Pression Limbs と組み合わせた時のものです。組み合わせて使用するリムによって、望ましい弦の長さは 1.5cm 程異なります。

(ATA Standard BOW-107-2008)。



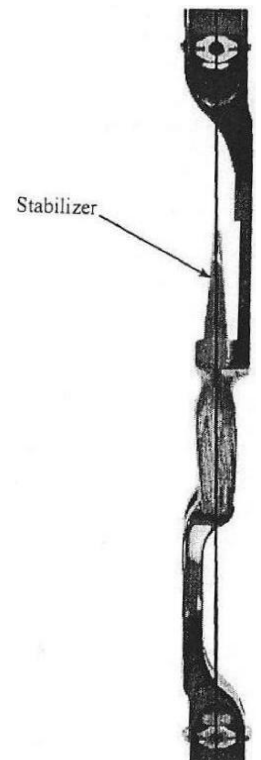
## リムボルト(Limb Bolt)



商品の出荷時にはリムボルト位置は2回転するとフルポンドになり、2回転緩めると最低ポンドになるように設定してあります。ポンド調整はハンドルのロックング・セット・スクリュー(Locking Setscrew Flus)を調整することで行います。リムボルトを時計回りに回すとポンドは重くなり、反時計回りに回すとポンドは低くなります。適正ポンドの位置が決定したら、リムボルト・ロックング・スクリュー(Limb Bolt Locking Screw)をしっかりと固定してください。

## 完璧なセンターショット(Properly Aligned Bow)

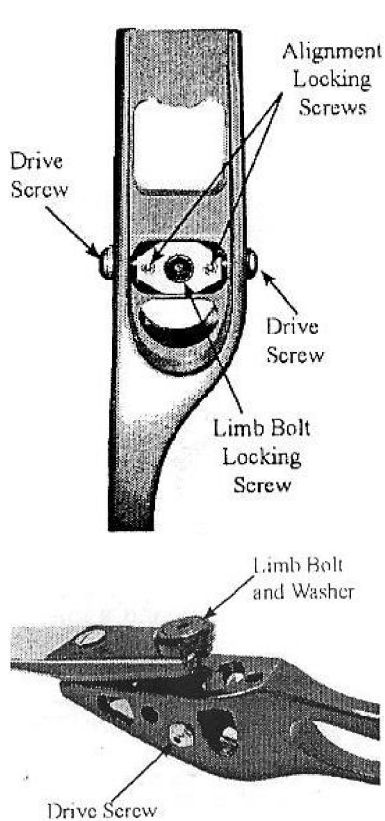
以下の作業のおこない、右の図のようにセンタースタビライザーとハンドルとリムの中心線が全て一直線になった状態が完璧なセンターショットです。



**ホウキヤ**

〒164-0003 東京都中野区東中野 1-58-16-306  
E-mail:info@archery-shop.jp HP:http://archery-shop.jp/

## X Appeal センター調節機構(X Appeal Limb Alignment Mechanism)



リムやスタビライザーによってセンターショットは変化します。リムとスタビライザーのいずれかを変更した場合には、再チューニングが必要です。センターショットを調整するのに、X-Appeal はプル・システムを採用しています。

ハンドルの両サイドにあるドライブ・スクリュー(Drive Screw)は直接リムボルトブロックと繋がっています。センターショットの調整を行うには、まず、2つのアライメント・ロッキング・スクリュー (Alignment Locking Screws)を必ず緩めてください。次に移動させる側のドライブ・スクリュー(Drive Screw)を緩め、センターショットを合わせてください。

調節が完了したら、反対側のドライブ・スクリューを締め、最後に、最初に緩めた2つのアライメント・ロッキング・スクリューを締めてチューニングを終了します。